

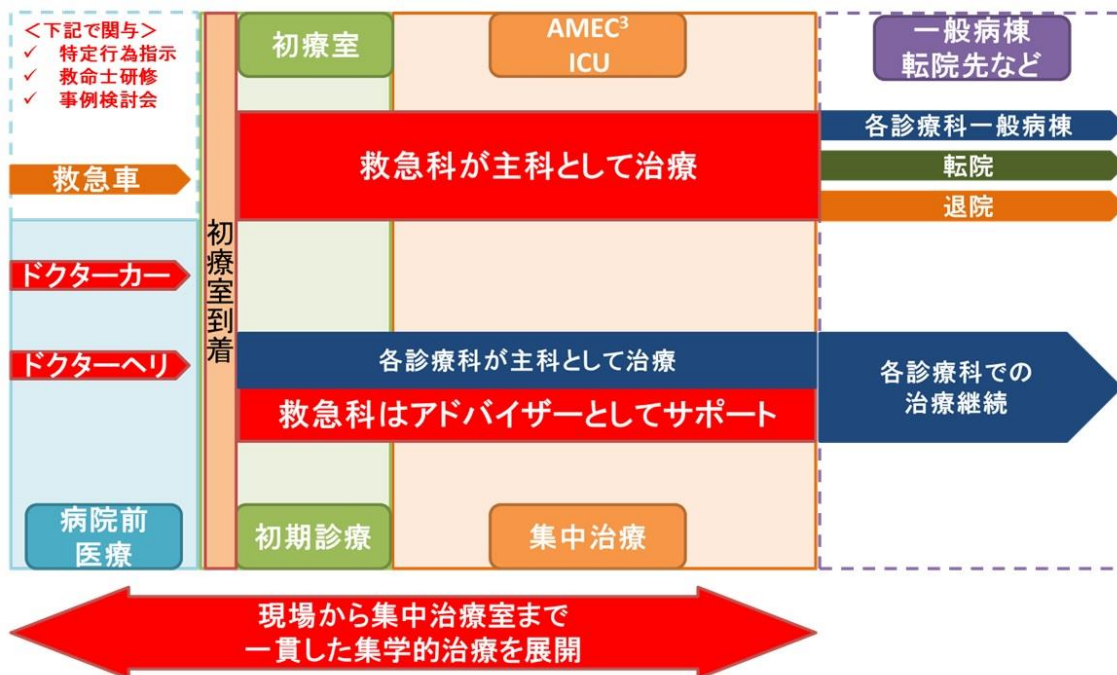
先進救急医療センター

【診療科(部)の特色】

初療室と、集中治療室（ICU）20床からなる先進救急医療センター（AMEC³：エーメック・スリー）として、急性疾患患者の診断・初期診療と集中治療を一貫して担っています。

重症感染症、多発外傷、急性中毒、心停止後症候群（Post cardiac arrest syndrome:PCAS）等の重症疾患・特殊疾患については当科が主科となり、他診療科と連携しながら質の高い集中治療・集学的治療を展開しています。また、重症患者管理のアドバイザーとして、各診療科の専門性を十分に発揮できるよう、サポートも行なっています。

- 救急初療：年間約 1300 例の受け入れ
- 集中治療：集中治療専門医多数
- 人工呼吸療法：最新の人工呼吸器を配置
- 血液浄化療法：積極的に活用しています
- 体温管理療法：パイオニアです
- 外科手術：当院外科の協力の下行っています
- 体外式膜型人工肺（ECMO）：心肺停止患者にも積極的に導入
- その他様々な症例・手技が経験できます
- ドクターカー：平日 9 時～17 時の運用
- ドクターヘリ：365 日運用中
- 災害医療（DMAT）：現在 3 隊在籍
- メディカルコントロール（MC）：県・地域で中心的な役目を果たしています



<先進救急医療センター・救急科の機能>

【研修内容】

救急主科患者の主治医チームの一員として診療に参加します。救急搬送があれば優先的に初療室での初期診療に加わりま
す。平日毎朝、全ての入室患者の診療経過についてプレゼン
テーションとディスカッションを行い、患者についての最新
情報を共有します。水曜日には教授回診、退院カンファレン
スがあります。これらのカンファレンスでの主役は、主治医で
ある研修医です。抄読会や、救急隊員を交えた救急事例検討会
なども開催しています。学会発表やドクターヘリ同乗のチャン
スもあります。



【研修目標】

ドラマやドキュメンタリーに出てくるような高度救急医療を行うこともあれば、時に比較
的軽症な患者も受け入れることもあります。「目の前にいる患者を亡くさない為にはどうす
ればよいのか？」その答えが見つかります。

【指導医からのコメント】

私たち救急医の専門性は何か？それは、オーケストラに例えると指揮
者。患者の為に力を注ぐ各科スペシャリストの能力が十分に発揮される
よう環境を整え、救命・社会復帰へ向かうためのトータル・コーディネ
ートができる能力だと考えます。無論、救急医が治療の先頭に立ちリー
ドしていくべき重篤疾患や特殊な病態へ対応する力も必要であり、それ
も専門性の一つと言えるでしょう。初期研修を行う皆さんにも指導医と
ともにその一翼を担っていただくことになります。

3次救急が主な対応ですが、実際には様々な症例がバランスよく経験
でき、救急現場の実情も理解できます。教育熱心な指導医の下、当科の
研修で得られた考え方はどこにおいても役に立つものとなるでしょう。



【お問い合わせ先】

山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター

金田浩太郎

TEL：0836-22-2343

E-mail：ko-taro@yamaguchi-u.ac.jp